

## 第 23 回肝炎医療コーディネーター研修会のアンケート結果

### 項目 13 【講演の感想・意見】

- ・各科での連携や医師間の連携が問題点として挙げられていましたが、患者さんの人数が多ければ多いほど大変になってくるのかなと思いました。
- ・健診機関として自施設しか参加しておらずディスカッションが必要なのか考えております。行政の担当者が参加させないことは非常に残念です。参加者も固定されているような感じがします。
- ・肝炎コーディネーターとして、健診機関では検査受診勧奨や肝専門外来受診勧奨を行っております。私たちができる限りのことは行っていますので、今後は肝炎結果の取りまとめを市町村単位で行うのか、県単位で行うのか国として管理するのをもっと具体的な方法に移るべきだと思います。
- ・定期的に研修会に参加していますが、毎回このディスカッションが必要かと疑問に思っています。もっと最新の話提供をしていただけたらと思います。
- ・他施設の現況に加え、自施設の状況把握ができました。やはり感染数の減少を感じます。
- ・他病院やクリニックの現在の取り組みがよくわかり、良いディスカッションでした。
- ・カルテの中で検査を実施した人が分かるようにするのはとても有効なことだと思います。整形は調べていない人が多い気がするので・
- ・すべての病院に同じフォーマットを入れるのは難しいかもしれませんが、皆が同じ形で共有できるのは大きな夢だし、働きかけもできる・しやすいと感じました。
- ・陽性者が受療につながっているのはすごいと思いました。「院内スルー 0」頑張りたいと思いました。
- ・B 型肝炎、C 型肝炎の検査、治療内容が詳しくわかりました。
- ・お忙しい中ありがとうございました。

### 項目 12 【コーディネーターの活動について】

- ・検査時（内視鏡、腹部エコー）などに無料の肝炎検査をすすめる。
- ・肝炎ウイルス検査のすすめ
- ・検査の勧奨、受診の勧奨（数件）
- ・助成金の説明（2）
- ・肝炎患者の拾い上げ
- ・1 週間に 1 度検査科よりデーターをメールで送ってもらい、HBs 抗原、HCV 抗体陽性者をピックアップし治療しているか確認。
- ・未治療の方の拾い上げを行う。
- ・現在は新しくコーディネーターになってくれたスタッフとチームを組み、肝炎受診勧奨対象者の対応を行っている。
- ・HCV 抗体陽性者の拾い上げ
- ・肝炎シール配布
- ・肝臓医師と検査データー確認し、掘り起こしを行っている。
- ・治療が必要な患者に対して、肝臓医師から情報提供があり患者へ治療を推奨している。
- ・入院患者のカルテで感染の確認を行っている。（2）
- ・肝炎患者さんを消化器内科医師への診察を受けるよう声掛けしていく。
- ・カルテの中を見て、採血結果を見て、陽性者を探す。